

水問題解決のニーズと取り組み

日本環境協会専務理事代行

山村 尊房

(日本水フォーラム参与)



写真は、「21世紀の水事業における日本の貢献のあり方を考える」セミナー
(2009.5.22 日本水フォーラム主催)

世界の水問題

GLOBAL WATER ISSUES

2.5 billion

People do not have access to proper sanitation facilities such as toilets (JMP Report, UNICEF/WHO 2008)

0.9 billion

People do not have access to proper drinking water facilities such as aqueducts and tubewells (JMP Report, UNICEF/WHO 2008)



3.8 million

People die each year of water related diseases (UN World Water Development Report, 2nd edition, 2006)

7 billion

People in 60 countries will be facing water shortages by the middle of the 21st century (UN World Water Development Report 2003)

2 billion

People will have suffered from food damage stemming from population increase and climate change by the middle of the 21st century (UNU-EHS 2004)

JAPAN has a strong responsibility to contribute to the resolution of global water issues.

for Global Water Security

TEAM WATER < JAPAN

& Water Security Council of JAPAN

<http://www.waterforum.jp/twj/index.html>

チーム水・日本HPより

水の安全保障戦略機構とは

平成21年1月30日発足

- 水の安全保障戦略機構は、国民全員の参加を基盤として、国政のリーダーシップの下、産学官の総合連携により、次の事項を実施することで、国内外の水問題解決に向けて行動する主体である「チーム水・日本」の活動を支援し、もって日本を持続可能で健全な国土とし、また、国際社会の一員としての役割を果たすことで、世界全体の水の安全保障に資することを目的とする。
 - ・国内外の水問題に関する課題を調査・分析すること
 - ・国内外の水問題に関する日本国民の意識を高揚させ、参加を促進すること
 - ・国内外の水問題の解決に関する戦略を策定すること
 - ・国内外の水問題の解決に関して政府、その他機関に対して提言すること
 - ・国内外の水問題の解決に資する情報を発信すること

水の安全保障とは

国内外の水問題解決による、持続可能な未来の実現

水の安全保障の確立

地球の水危機は人間の安全保障に直結

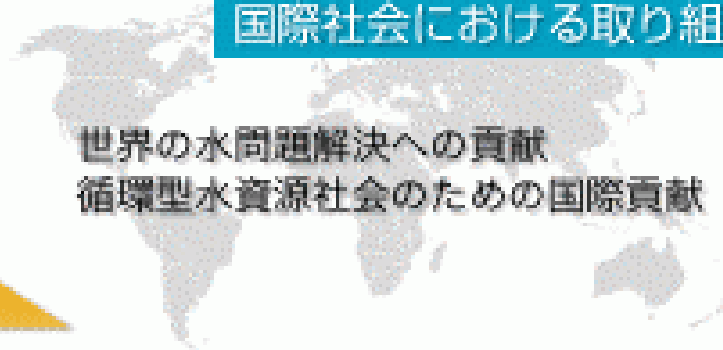
日本国内における取り組み

安全・安心の国土づくり、食料自給、
上下水道の維持更新、水エネルギー



国際社会における取り組み

世界の水問題解決への貢献
循環型水資源社会のための国際貢献



チーム水・日本

TEAM WATER JAPAN

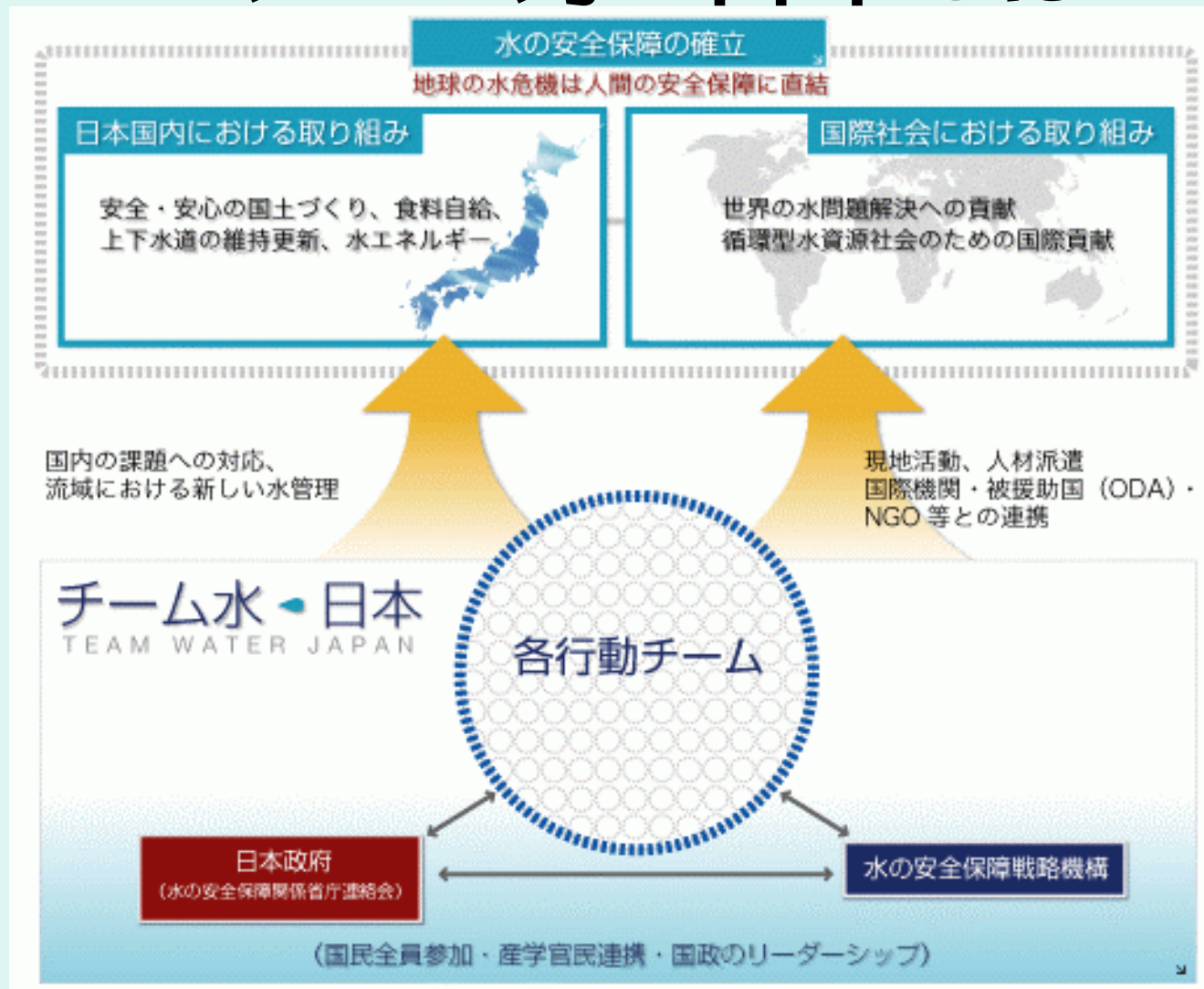
(国民全員参加・産学官民連携・国政のリーダーシップ)

チーム水・日本HPより

日本と国際社会の水の安全保障に向けて

- 地球温暖化、地球規模の環境悪化、エネルギーや天然資源の逼迫などの厳しい課題を乗り越え日本と国際社会の水の安全保障を確保するための方針は、次のとおり。
 - (1) 政治主導による機動的かつ大胆な政策を可能とする制度構築
 - (2) 産学官の知恵と経験を活用する総合連携(コンソーシアム)構築
 - (3) 循環型の水資源社会のための国際貢献の枠組み
 - (4) 国民の全員参加の国際貢献のための方策

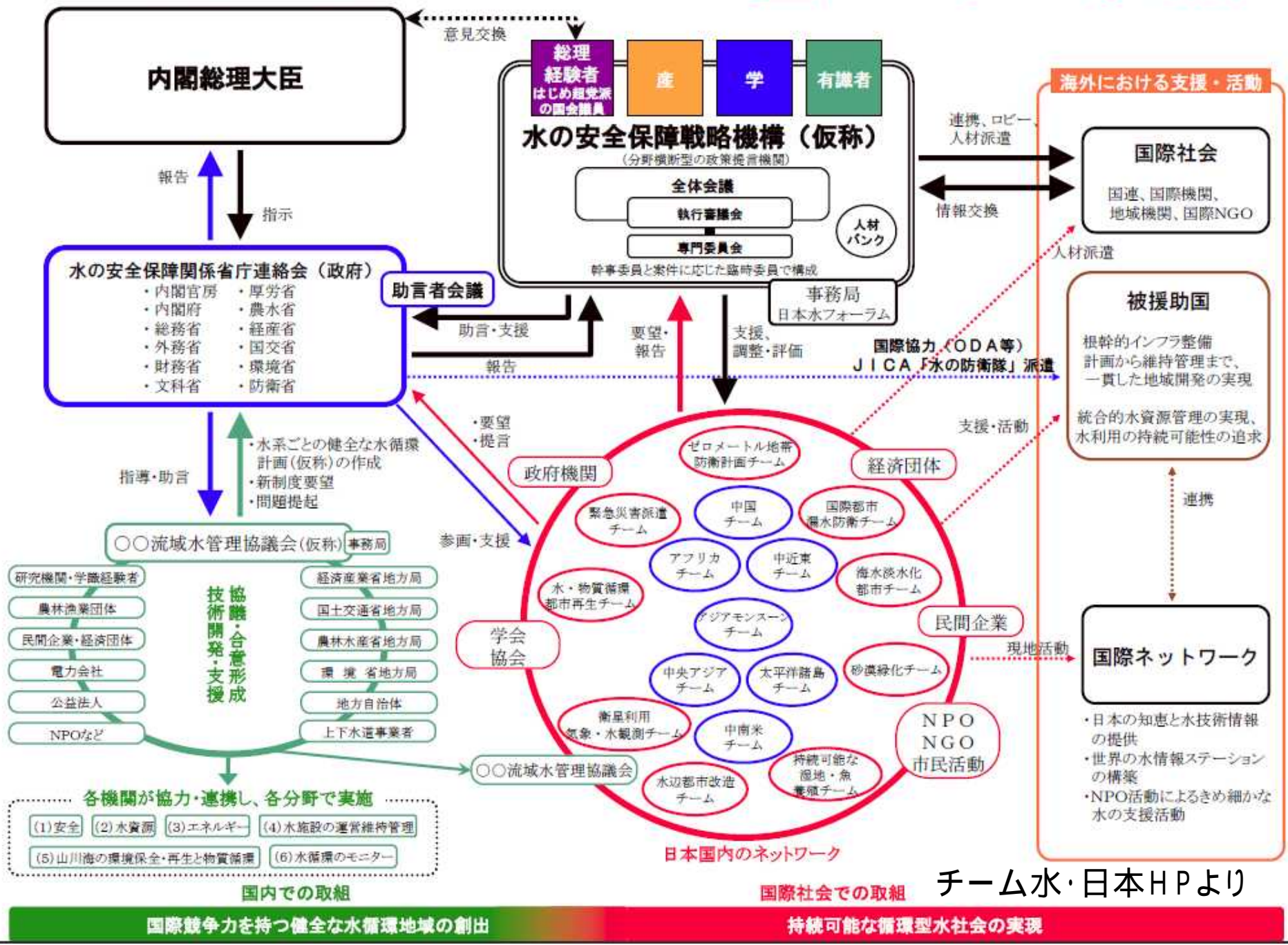
チーム水・日本とは



国内外の水問題解決を目指し、国政のリーダーシップによって、行政の枠と企業の自社主義を乗り越え、多様な人々の叡智を結集する新しい行動の総称。

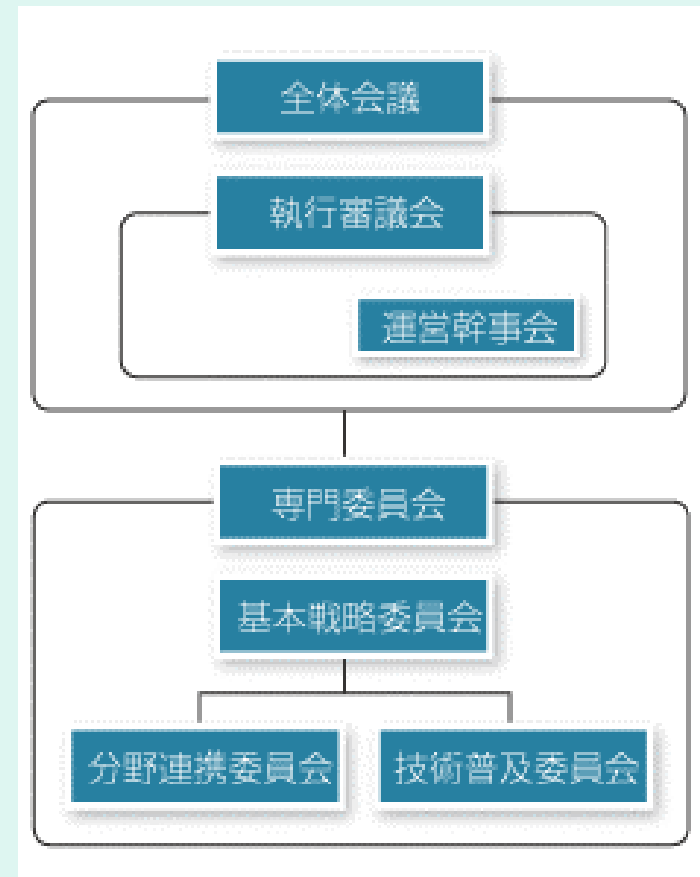
チーム水・日本HPより

日本と国際社会の持続可能な未来に向けて ● 「チーム水・日本」全体像



水の安全保障戦略機構

- 基本戦略委員会
- 基本戦略委員会の主たるテーマは、下記の通り。基本戦略委員会の委員は執行審議会委員から構成される。
 - ・ 21世紀文明を見据えた流域管理のあり方
 - 資源制約、人口減少下における水インフラ維持管理のあり方
 - 流域の広域的な水統合管理のあり方
 - 森、川、海、地下水の流域管理の状況と克服の方向性
 - 水問題に関する日本国民の意識高揚

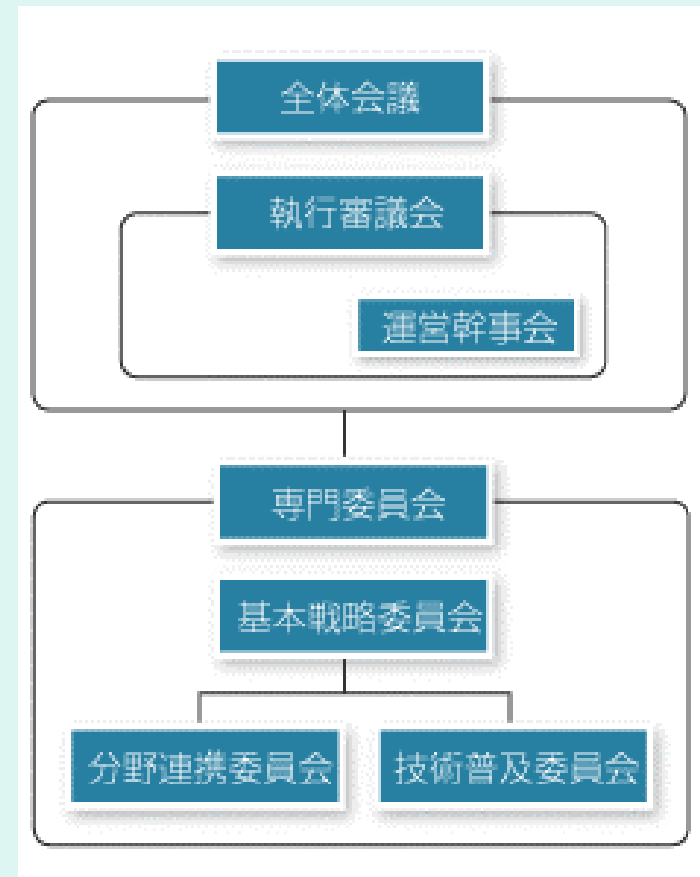


水の安全保障戦略機構

- 分野連携委員会

分野連携委員会の主たるテーマは、下記の通り。分野連携委員会の委員は、検討課題毎に、その課題に関連する執行審議会委員と行動チームの専門家から構成される。

- ・行政の枠、分野の枠を超えて連携して解決すべき課題の検討
 - 新技術の社会への応用の障壁と解決
 - 分野連携した水科学研究と水情報共有のあり方
 - 分野が連携した水・物質循環技術のさらなる進化
 - 行政連携による安全で快適な水辺都市の再構築



水の安全保障戦略機構

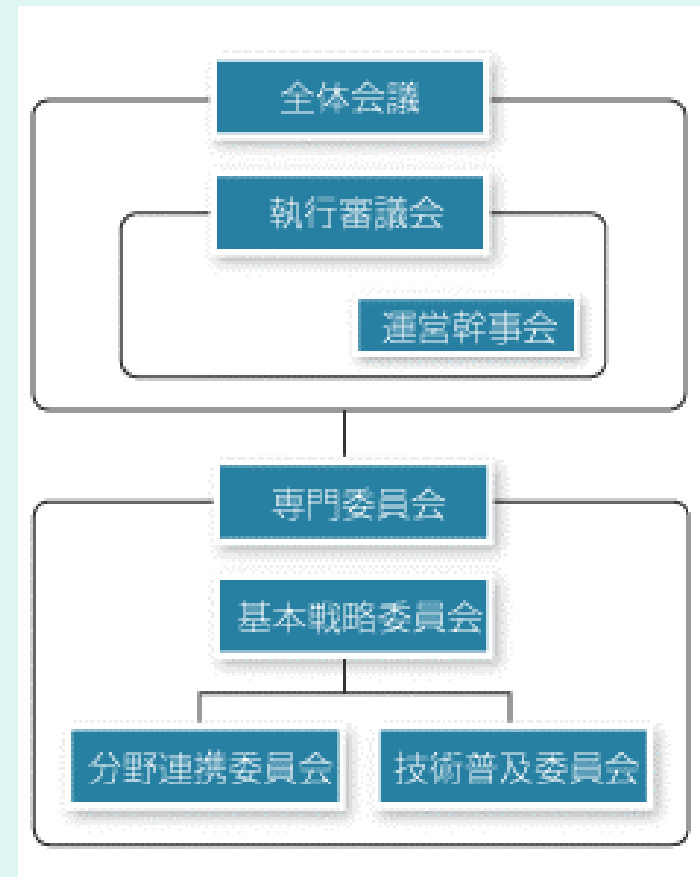
- 技術普及委員会

技術普及委員会の主たるテーマは、下記の通り。技術普及委員会の委員は、検討課題毎に、その課題に関連する執行審議会委員と行動チームの専門家から構成される。

・日本の技術が世界展開するための戦略の検討

- 国内企業の連携した技術基準の策定
- 日本技術の世界への浸透方策
- 日本伝統の水・衛生技術の世界への貢献と普及

- 技術力をもった人材の活用、育成



行動チーム一覧

平成21年4月23日時点(五十音順)

アジア・パシフィック水道技術情報ステーション、宇宙
利用 気象・水観測等チーム、海外水循環システム協議
会チーム、 海拔ゼロメートル地帯防衛計画チーム、
グリーン排水処理技術研究展開チーム、 下水道グロ
バルセンター、 災害時における中小規模「水」供給チ
ーム、 小集落対応型・移動型水環境システム整備チ
ーム、 生命の水道・日本、 地域小水力開発チ
ーム水道産業・日本、 都市観光と舟運ネットワーク検討チ
ーム、 途上国トイレ普及支援チーム、 バラスト水浄化チ
ーム、 ポリシリカ鉄による水・資源循環システム推進チ
ーム、 水科学技術基本計画戦略チーム、 水情報共有基盤
チーム、 水辺都市再生チーム、 リン資源リサイクル推
進チーム

「行動チーム」とは、「チーム水・日本」の行動主体であり、水に関わる多種・多様な特定課題に取り組む、多種・多様な主体から構成される。

チーム水・日本HPより